

第532回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成20年6月18日(水)午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 委員数 | 11名 |
| 出席委員 | 6名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 副委員長 | 宮澤 徳雄 |
| 委員 | 伊藤 史典 大村友貴美
河村 泰信 工藤 和彦
熊谷志衣子 |
| 欠席委員の氏名 | 小林 英男 小松 務
澤口たまみ 田代 高章
矢佐 俊幸 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|-----------|
| 川島 敬司 | 常務取締役 |
| 柴田 継家 | 報道局長 |
| 鎌田 英樹 | テレビ編成局長 |
| 河辺 邦博 | 報道局次長 |
| 小野寺久穂 | 制作部ディレクター |
- 事務局
- | | |
|-------|------------|
| 馬場由紀子 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 番組審議会事務局次長 |
4. 議 題 『いわて自殺予防最前線～いのち・絶たないで～』

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- ・岩手は自殺率が高く、交通事故死者数よりも多いこと、各地で防止のための取り組みが行われていることなど、初めて知ることが多かった。
- ・難しいテーマではあるがシリーズ化を視野に入れて、防止対策を提言できるまで継続取材をしてほしい。
- ・自殺を思いとどまってほしいという強い思いと、遺族の方に精神的に強くなってほしいというパワーのあるメッセージが伝わってきた。
- ・企業にいて人事を担当しているので、身近なテーマとして興味深く見た。青森県は県を挙げて自殺を減らそうとキャンペーンをやり、実際に効果を上げた。岩手県も久慈市がそういう取り組みをして自殺者を減らした。こうした結果は、自殺は防げるという証しではないかと感じた。
- ・原因がわかってくると確かに自殺を防止するための個々の取り組み、対処療法的な取り組みがあると思うが、経済政策なり社会政策なり全体で考えていかなければならないテーマではないかと思う。
- ・悶々と悩んでいる方が見ていれば何か心に留めることができ、自死をやめるきっかけになればという思いで見ました。

<社側>

- ・一人一人が何が原因で自死に至ったのか・・・自殺予防に取り組んでいる先生方、関係者の皆さんに聞いてもわかりませんでした。我々は報道機関にいと「これが原因ではないか」と言いたくなるのですが、その質問を投げかけても「いや、実はわからないんです」というのが皆さんの回答でした。したがって、私たちも簡単に言い切ることをやってはいけないんだと思い、あいまいになった部分があったかもしれません。ただ、専門に研究されている先生方もこれが原因だと言えないというのが、逆に浮き彫りになってきたところでもあります。
- ・岩手県内の取り組みについては、今回取り上げた三つの事例のほかにもたくさんあります。今後のテーマにしていかなければならないと感じています。また、この番組を見て少しでも自殺を予防することを考えるきっかけが生まれればいいなと思っています。